

# カンキツのウイルス・ウイロイド病診断技術



～ 広島県内産地の健全化のために ～



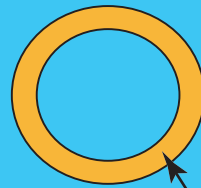
植物に感染して病気を引き起こすウイルス等を直接撲滅する農薬はありません。そこで、ウイルス・ウイロイドの診断技術を導入し、病気の蔓延防止に役立ってます。

**ウイルス** 核酸とそれを包むタンパク質からなる極小の病原体



主に  
酵素結合抗体法  
(ELISA) で診断

**ウイロイド** RNAのみからなる現在知られている最小の病原体

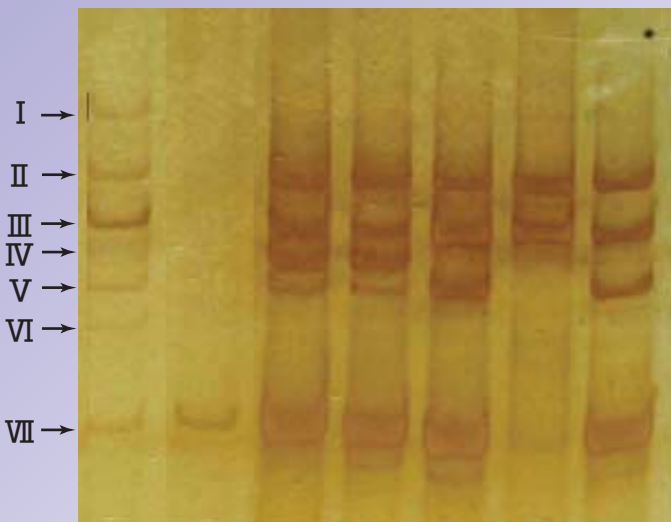


RNA

遺伝子診断法  
(RT-PCR) で診断

- ◎ 生きた植物細胞内でのみ増殖します。
- ◎ 伝染方法は、接木・汁液・アブラムシ・土壌等です。
- ◎ 病気を増やさないためには、適切な感染防止策が必要です。

1 2 3 4 5 6 7



RT-PCR法による現地圃場デコポンのウイロイド検出

外観は健全そうに見える樹でもウイルス等を保毒している場合があります。感染穂木による増殖は病気を蔓延させます!

1: ウイロイド7系統  
2~7: 現地圃場デコポンから検出

